

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3165618号
(U3165618)

(45) 発行日 平成23年1月27日 (2011. 1. 27)

(24) 登録日 平成23年1月5日 (2011. 1. 5)

(51) Int.Cl.

B 4 2 D 15/00 (2006.01)

F 1

B 4 2 D 15/00 3 0 1 D

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2010-7493 (U2010-7493)
(22) 出願日 平成22年11月15日 (2010. 11. 15)(73) 実用新案権者 710012852
徳山 和宏
奈良県生駒郡三郷町美松ヶ丘西2丁目1番
12号
(72) 考案者 徳山 和宏
奈良県生駒郡三郷町美松ヶ丘西2丁目1番
12号

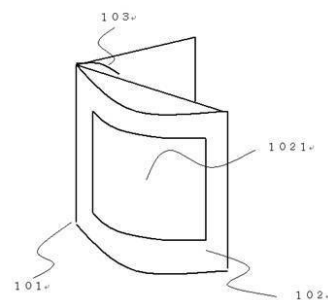
(54) 【考案の名称】 収納ポケット付手帳

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 A 4 サイズの紙を複数回折りたたんだ形状の用紙をブックカバーの様に保護するバンド固定式手帳を提供する。

【解決手段】 折りたたみ型の手帳 1 0 1 で、手帳表面には紙を収納でき、当該紙は内容が見え、書き込み可能とする窓枠状の開口部 1 0 2 1 のある収納ポケット 1 0 2 を備える。さらに、手帳を開いた場合に手帳中央部上下に紙を挟みこめるバンド 1 0 3 を備え、当該紙は、内容が見え、書き込むことができる収納ポケット付手帳とする。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

折りたたみ型の手帳で、手帳の表側には紙を収納でき、手帳の表側から当該紙の内容が見え、書き込み可能とする窓枠状の開口部のある収納ポケットを備え、手帳を開いた場合に、手帳の中央部上下に紙を挟みこめるバンド紐を備え、当該紙は、内容が見え、書き込むことができ、利用用途に応じて紙をバンド紐による固定するか、もしくは収納ポケットへの収納するかを選択できることを特徴とする収納ポケット付手帳。

【請求項2】

前記収納ポケットには、A4サイズの紙を折りたたんだA7サイズの紙を収納でき、手帳を開いた場合、A4サイズの紙を折りたたんだA6サイズの紙を挟みこむことを特徴とする請求項1記載の収納ポケット付手帳。

10

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、折りたたんだ紙をバンドによって固定するブックカバー様の手帳に折りたたんだ紙を収納できる収納ポケットを備えたポケット付手帳に関する。

20

【背景技術】

【0002】

従来、小型のノートを手帳として活用するために、様々な方式の手帳が考案されている。例えば、ノートの表紙、裏表紙をブックカバーに収納した手帳、手帳の中央上部及び下部に紐等を通し、当該紐をノートの任意のページに挟み込むことで、手帳からノートがずり落ちないように工夫したものがあり、現在それらは発売されている。

【0003】

なお、ブックカバー用にブックバンドを利用することで、ブックカバーにノート類を固定することが可能な製品も考案されている。

30

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2007-230198号 公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、ノートの表紙、裏表紙をブックカバーに収納する手帳については、例えば、A4サイズの紙を複数回折りたたんだ形状の用紙をブックカバーに収納すると、記載及び内容の確認が困難となる。また、手帳の中央上部及び下部にバンド紐等を通し、当該バンド紐をノートの任意のページに挟み込むことで、手帳からノートがずり落ちないように工夫した手帳については、A4サイズの紙を複数回折りたたんだ形状の用紙を複数枚挟み込んだ場合、手帳から当該用紙がずり落ちてしまうことがある。手帳の用途として、スケジュール表だけを使う場合、当該用意は1枚でも用を成す。

40

【0006】

しかし、それ以外のメモ帳等の用紙が必要となった場合、当該用紙は複数枚必要となる。その場合、手帳の中央上部及び下部にバンド紐等を通し、当該バンド紐をノートの任意のページに挟み込む手帳に複数枚の用紙を挟み込むことになるが、その場合、奥側に挟み込んだ紙に対しては、当該バンド紐によるずり落ち防止効果が及びにくいいため、当該紙が手帳から紙がずり落ちやすくなる。

50

【0007】

また、ブックカバー用にブックバンドを利用することで、ブックカバーにノート類を固定することが可能な商品の場合は、前提条件が1つのノートを固定することにあるから取り扱いが不便である。

【0008】

よって、従来存在する考案によって、これらの課題は解決できない。

【0009】

本考案は、複数回折りたたんだ紙を、複数枚利用する場合の取り扱いに関する不便さの解消を提供する。

【課題を解決するための手段】

10

【0010】

折りたたみ型の手帳で、手帳の表側には紙を収納でき、手帳の表側から当該紙の内容が見え、書き込み可能とする窓枠状の開口部のある収納ポケットを備え、手帳を開いた場合に、手帳の中央部上下に紙を挟みこめるバンド紐を備え、当該紙は、内容が見え、書き込むことができ、利用用途に応じて紙をバンド紐による固定するか、もしくは収納ポケットへの収納するかを選択できることを特徴とする収納ポケット付手帳。

【0011】

収納ポケットには、A4サイズの紙を折りたたんだA7サイズの紙を収納でき、手帳を開いた場合、A4サイズの紙を折りたたんだA6サイズの紙を挟みこむことを特徴とする収納ポケット付手帳

20

【考案の効果】

【0012】

このように、本考案によれば、利用者は複数回折りたたんだ紙の利用用途に応じて、バンド紐による固定、もしくは収納ポケットへの収納を選択することが可能になる。

【0013】

例えば、A4サイズを3つ折にしたA7サイズで取り扱う場合、スケジュール表は頻繁に見開いて使用するので、手帳のバンド紐で固定して使用する。メモ帳については、手帳を取り出した際に直ぐに使用したいので、収納ポケット部に収納するなど、利用状況に応じた、手帳の活用方法が可能となる。

【図面の簡単な説明】

30

【0014】

【図1】手帳の全体構成である。

【図2】手帳の収納ポケットに紙を収納する図である。

【図3】手帳の見開き部に紙をバンド紐で固定する図である

【考案を実施するための形態】

【0015】

以下、本考案の実施の形態について、図を参照しながら説明する。

【0016】

〔手帳の構造〕

図1は、本考案に係る手帳の構造を示している。

40

【0017】

手帳101は、半分に折りたたむことができる。手帳の表側に窓枠の様な開口部1021がある収納ポケット102を備えている。この開口部1021を通して、鉛筆などで収納ポケット102におさめられて折りたたんだ紙に書き込むことができる。手帳中央の上部及び下部に掛けて、紙を挟みこむためのバンド紐103を備えている。

【0018】

図2は、手帳の収納ポケットに紙を収納する方法を示している。

【0019】

まず、A4サイズの紙を3回折りたたみ(201)、A7サイズにする(202)

【0020】

50

次に、表示したい面を手帳の外側方向に向けて、収納ポケットの開口部から差し込む（203）。

なお、差し込まれた紙に対して、手帳表面にある収納ポケットの開口部を通じて、紙面に直接鉛筆などで書き込むことが可能である。

【0021】

図3は、手帳を開いて、バンド紐へ紙を固定する方法を示している。

【0022】

まず、A4サイズの紙を3回折りたたみ（301）、A7サイズにしたものを見開き、A6サイズにする（302）。このA6サイズは収納ポケットに収納するA7サイズの紙の横幅が2倍の大きさの紙となる。

10

【0023】

次に、表示したい面を手帳のバンド紐の下を潜らせて指し込み、固定する。紙を潜らせにくい場合は、紙の水平方向を少々丸め、バンド紐の下を潜らせるものとする（303）。

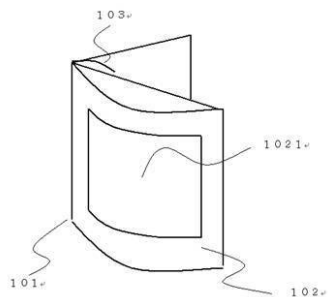
【符号の説明】

【0024】

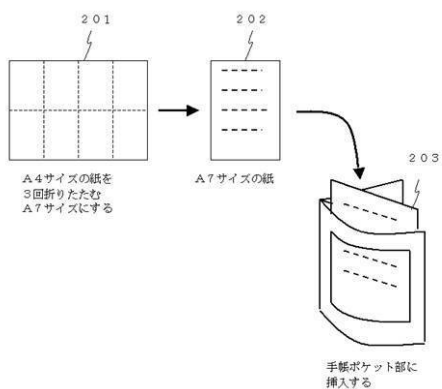
- 101 手帳
- 102 手帳ポケット部
- 1021 開口部
- 103 手帳中央部の上部と下部を結ぶバンド紐
- 201 A4サイズの紙の折りたたみ方法
- 202 A7サイズに折りたたまれた紙
- 203 収納ポケットへの紙の収納の方法
- 301 A4サイズの紙の折りたたみ方法
- 302 A7サイズを見開き、A6サイズの紙にする方法
- 303 バンド紐への紙の固定方法

20

【図 1】



【図 2】



【図 3】

